

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

大問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点					
18点	(1)	ア ①	技能	・ 東	1	・ 北東	3					
		イ ②	知識理解			・ 平野	2					
		ウ ③	技能			・ 九州山地	3					
	(2)	エ ④	知識理解			・ 熊本 又は 阿蘇くまもと (ひらがな可) ※正式名称:「熊本」, 愛称:「阿蘇くまもと」	2					
		オ ⑤	技能	○どちらか一方を書いている。	1	・ 九州新幹線 (新幹線でも可), 高速道路 (順不同)	3					
	(3)		⑥	知識理解	○新幹線と飛行機の便利な点について1つ書いている。 ・ 新幹線は速く移動できる。 ・ 飛行機は長い距離を移動できる など	2	○長い距離を移動できること, 短時間で移動できる (速く移動できる) ことなど, 便利な点について2つ書いている。 ・ 新幹線は, 長い距離を短時間で移動することができる。 ・ 飛行機は, 長い距離を短時間で移動することができる。	5				
16点	(1)		⑦	技能	○どちらか一方だけ正しく書いている。	2	ア 11 イ 6	4				
	(2)		⑧	技能	○どちらか一方だけ正しく書いている。	2	・ 春, 夏	4				
	(3)		⑨	思考判断表現	○資料2に着目し, 理由を書いている。 ・ 寒い時期はトマトの価格が高いから。 ○資料3に着目し, 理由を書いている。 ・ 冬に売られるトマトが少ないので, その時期に作ればよく売れるから。	2 1	○2つの資料を関連させて, 理由を書いている。 ・ 寒い時期は出荷量が少なく, トマトの価格が高くなるから。	4				
	(4)		⑩	思考判断表現	○「安全・安心」, 「新鮮さ」のうち, 1つの視点からのみ消費者にとってのメリットを書いている。 ・ 農家から直接届くので新鮮。 ・ 農作物を作っている人が分かるので安心。	2	○「安全・安心」及び「新鮮さ」の2つの視点から消費者にとってのメリットを書いている。 ・ 直接注文できることで, 生産者が分かるので安心して食べることができる。 ・ 直接生産者からトラックで宅配されることで, 届くまでの時間がかからず, 新鮮な状態で届く。	4				
19点	(1)	ア ⑪	技能			・ 700 (万トン)	2					
		イ ⑫	技能			・ 1998 (年)	2					
	(2)		⑬	技能	○③他の漁業との比較の視点を含む2つの視点からまとめている。 ・ 1970年頃は一番生産量が少なかったが, 1990年を過ぎたあたりで遠洋漁業の生産量を上回るようになった。 ・ 生産量が年々徐々に増えており, 2007年には, 沿岸漁業と同じくらいの生産量になった。 ○①生産高と②生産高の推移の視点から書いている。 ・ 1970年頃は一番生産量が少なかったが, 少しずつ生産量が増えてきた。 ○③他の漁業との比較の視点から書いている。 ・ 1990年を過ぎたあたりで遠洋漁業の生産量を上回るようになった。 ○①又は②の視点から書いている。	3 2 2 1	○①生産高, ②生産高の推移, ③他の漁業 (遠洋漁業や沿岸漁業等) の3つの視点から養殖漁業の生産量の変化についてまとめている。 ・ 1970年頃は一番生産量が少なかったが, 少しずつ増えていき, 1990年を過ぎたあたりで遠洋漁業の生産量を上回るようになり, 2005年頃からは, 沿岸漁業と同じくらいの生産量になっている。	5				
					○2つの漁業の似ているところを説明し, 栽培漁業の特色のみ書いている。 ・ 卵や稚魚からある程度まで育てることは似ているが, 栽培漁業は大きくなる前に海に放流する。 ○2つの漁業の似ているところを説明し, 養殖漁業の特色のみ書いている。 ・ 卵や稚魚からある程度まで育てることは似ているが, 養殖漁業は, 大きくなるまで育てる。 ○2つの漁業の違いを書いている。 ・ 養殖漁業では大きくなるまで育てて出荷し, 栽培漁業では, 大きくなる前に海に放流し, 大きくなったところで獲るところが違う。 ○2つの漁業の似ているところを書いている。 ○どちらか1つの漁業の特色を書いている。	3 3 3 2 1	○2つの漁業を比較し, 同じところと違うところを示しながら, 栽培漁業を説明している。 ・ 卵や稚魚からある程度の大きさになるまで育てることは似ているが, 養殖漁業では大きくなる前に海に放流し, 大きくなったところで獲るところが違う。	5				
					(3)		⑭	知識理解	○2つの漁業の似ているところを説明し, 栽培漁業の特色のみ書いている。 ・ 卵や稚魚からある程度まで育てることは似ているが, 栽培漁業は大きくなる前に海に放流する。 ○2つの漁業の似ているところを説明し, 養殖漁業の特色のみ書いている。 ・ 卵や稚魚からある程度まで育てることは似ているが, 養殖漁業は, 大きくなるまで育てる。 ○2つの漁業の違いを書いている。 ・ 養殖漁業では大きくなるまで育てて出荷し, 栽培漁業では, 大きくなる前に海に放流し, 大きくなったところで獲るところが違う。 ○2つの漁業の似ているところを書いている。 ○どちらか1つの漁業の特色を書いている。	3 3 3 2 1	○2つの漁業を比較し, 同じところと違うところを示しながら, 栽培漁業を説明している。 ・ 卵や稚魚からある程度の大きさになるまで育てることは似ているが, 養殖漁業では大きくなる前に海に放流し, 大きくなったところで獲るところが違う。	5
					(4)		⑮	思考判断表現	○水産資源の「保護」又は「育成」のどちらか1つの視点から書いている。 ・ 魚を自然に帰し, 水産資源を保護するため。 ・ 海で魚を育て, たくさんとれるようにするため。 ○自然に近い形で魚を獲るという内容が書いている。 ・ 自然に近い形で魚を獲ることができるから。	3 2	○水産資源を保護し, より自然に近い形で魚を育成することについて書いている。 ・ 魚を自然に帰すことで, 水産資源を増やすとともに魚をより自然に近い形で育成し, 成長した魚を獲ることができる。	5
【授業改善の視点】 中心資料を使い, 基礎的・基本的事項の読み取りを多面的に行う。その後, 複数の業種について相違点を比較・検討する言語活動を積極的に取り入れることにより, その産業の特色をとらえる学習を行う。												

※文章記述については、同じような意味であれば可とする。

【授業改善の視点】
日本全図を使い、我が国の位置と周辺諸国を調べる活動を行う。その後、主な都市の気温と降水量のグラフから地域による気候の特色をとらえ、相違点について比較・検討し、表現する言語活動を取り入れ、国土の特色をとらえる学習を行う。